

岩沼西中

普段言えない気持ち投稿



これがイチオシ

心身温まる自慢の給食

学校で作る岩沼西中学校の給食はいつもできたてでおいしく、私たちの心も体も温めてくれます。イチオシは、いちごジャムや野菜など岩沼産や宮城県産の食材を使った給食です。地元のおいしい食材を食べると、誇らしくなります。部活動の大会前応援メニューなどがあり、豊富なメニューは西中生をいつもわくわくさせてくれます。給食の時間には委員会活動の一環で行うラジオ放送のクイズや心理テストもあり、楽しみながら食べ、私たちの活力の源になっています。

学校名 岩沼市立岩沼西中学校
 所在地 宮城県岩沼市三色吉竹11
 創立 1986年
 電話 0223(24)3155
 校長 渡辺 真由美
 生徒 487人

岩沼西中学校では「iタブ」と呼ぶタブレット端末を一人一台用いて、学びを深めています。授業では、先生との資料の共有や話し合いで意見を一つにまとめるなどそれぞれ用途で工夫して活用しています。生徒会執行部も学校生活より良くするために「iタブ」を使っています。その一つとして「デジタル化が挙げられます。先生や友達に普段は言えない感謝を、グループホームを使い、匿名で投稿するものです。

「iタブ」でありがとう

デジタル化したことで気軽に送れるようになり、より多くの生徒が「ありがとうBOX」を利用するようになりました。他にも、1年生を迎える会や3年生を送る会で、生徒自身が動画の作成や編集をしたり、生徒総会の資料をPDFで配信し、ペーパーレスで行ったりするなど行事でも活用しています。西中では、「iタブ」は学習活動のために使うものだけという一人一人が自覚し、学びに生かせるよう意識して使っています。

生徒総会でタブレットとスクリーンを見る生徒たち (写真の一部を加工)



編集委員 柴田心華 (3年) 村松陸斗、渡辺愛樹 (2年)
 指導教員 菅野朋夏

わが校わがまち スクール通信



次回は 馬場小 (仙台市) 河南東中 (石巻市)

学校統合前 最高の思い出

三つの伝統芸能を伝承

錦織小学校では、嵯峨立神楽と嵯峨立甚句、西郡太鼓の三つの伝統芸能の伝承活動をしています。運動会で5・6年生が神楽を踊り、甚句は3・4年生が学習発表会で披露します。太鼓は5・6年生が登米市音楽文化祭で発表します。錦織小は来年度、米川小、米谷小と統合します。三つの伝統芸能を錦織小で披露する機会は本年度で最後になります。5月に錦織小最後の運動会が行われました。みんな力を合わせ、他の学年や地域の人たちの印象に残るようになりたいと一生けん命、神楽を練習しました。稽古を祈る踊りなので、力を強く思い切り踊ることを心がけ練習しました。運動会の当日、神楽はこれまでで一番良い仕上がりになり、地域の方々からも大きな拍手をもらい、最後の発表にふさわしいものになりました。2学期には、太鼓と甚句の練習も始まります。今ままで一番良い仕上がりになるように一生けん命、みんな練習に取り組みます。



本年度の運動会で嵯峨立神楽を踊る児童たち

編集委員 猪股佑愛、今井優花、及川愛奈、熊谷姫那、佐藤幸虎、佐藤爽太、千葉雅斗、千葉光莉、永井るな、名嘉原琉心、丸山蘭、山田奏綯 (6年) 指導教員 佐藤正彦

錦織小



これがイチオシ

たてわり遊び 絆深める

錦織小学校では、あいさつ運動と遊び、掃除の三つに縦割りを取り組み、仲良く活動しています。元気なあいさつができるよう「たてわり班」で毎月初めに全教室を回ります。水曜は月に1、2回、六つのたてわり班でみんなで決めた遊びをし、その日の昼休みに班毎に教室の掃除をします。全校でドッジボールや鬼ごっこをする「たてわり遊び」もあります。他の2校と統合する来年度からも、縦割りの交流の機会を増やし、絆を深められたらいいなと思います。

学校名 登米市立錦織小学校
 所在地 宮城県登米市東和町錦織山居沢15
 電話 0220(44)3506
 創立 1873年
 校長 高須 由美
 児童 59人